

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

日時：平成29年10月17日(火)

展開学級：2年E組(37名)

展開場所：被服室

授業者：

1 題材名 C 住生活と自立 ～House Change Project～

2 題材について

〔題材観〕

近来、個人の生活、住まい、地域環境、地球規模の住環境はますます密接につながってきており、現代の住生活の問題は広範かつ多岐にわたり、複雑化している。日本においては、戦後、生活が大きく変化したことにより、日本人の生活様式が多様化した。また、集合住宅の占める割合は増え、都市の過密と農村の過疎など、住環境は複雑化した。世界においては、持続可能な社会に向けての資源・エネルギーの有効利用が求められる事態となっていくにつれ、環境問題がとりあげられてきている。

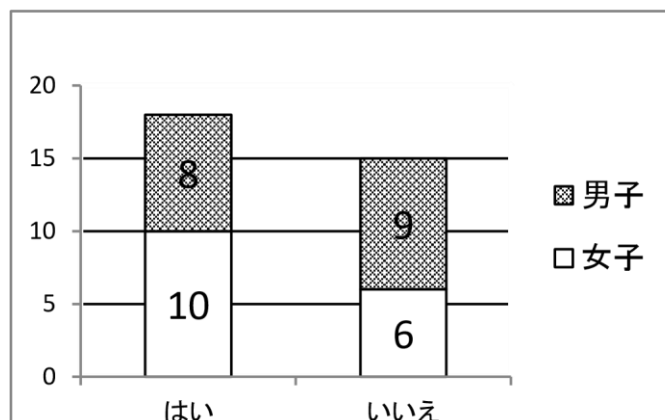
中学生は、住生活に関心があっても、住居そのものに手を加えたり、間取りを変えたりすることは難しい。一方で、新しい設備や電化製品への関心が高いことが多い。しかし、住居は環境問題やエネルギー問題、健康問題等と密接な関係にあり、安全や快適に住まおうとする主体的な態度を育てることはよりよい生活の創造のためには欠かすことはできない。

そこで、本題材では、住まいに関する基礎的・基本的な知識を学習するとともに、本題材のまとめとして、環境や社会に配慮した住まい方についても学習していく。生徒自身が住生活を総合的に捉え、生活環境の改善の方向性を理解し、住生活の主体者となる態度を育成したい。

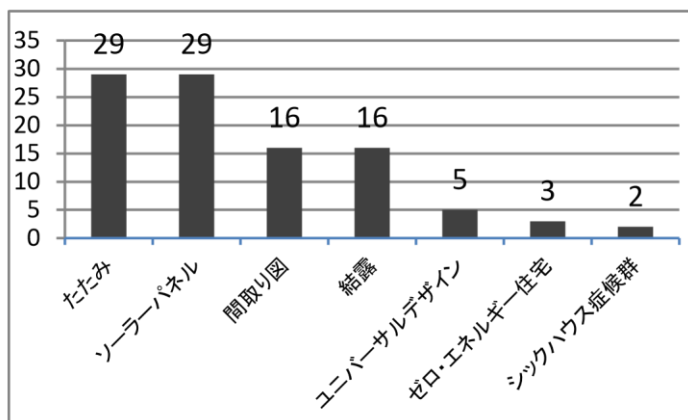
〔生徒観〕(2年E組 男子19名 女子18名 計37名)

学校の周囲は住宅地で、一軒家も集合住宅もある。公園も多く、緑が見られる。本学級は、一軒家よりも集合住宅に住む生徒が多い。

事前の実態調査によると、住まいに関心のある生徒は半数程度である。女子の方が、関心のある生徒が多い。【表1】教科書に出てくる住まいに関する用語の意味を問うと、「たたみ」「ソーラーパネル」などの聞き馴染みのある用語の意味を知っている生徒は多かった。しかし「ゼロ・エネルギー住宅」「シックハウス症候群」などの専門的な用語は意味を知っている生徒は少なかった。【表2】



【表1】住まいに関心はあるか



【表2】生徒が意味を知っている用語

〔指導観〕

調べ学習を通して、生徒自身の住生活を振り返り、個人の快適さだけでなく、社会や環境のことも考えた住生活を意識させていく。そのために、住生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それを基に、家庭での実践や調べ学習を進めていく。基礎的・基本的な知識としては、家族との住まい方、室内環境の整え方、安全対策を扱うこととする。また、日本の伝統的な家のつくりやハウスメーカーの技術を加えて考えることにより、生徒の思考の広がりを持たせたい。本時では、実践報告をし、他者の発表を聞き、自分の実践を振り返る。他者の考えを知ることにより、新たな視点も踏まえて自分の住生活について考え、環境や社会に配慮し、行動する生徒を育成したい。

3 題材の目標

自分や家族の住空間に関心をもち、安全に配慮した室内環境の整え方を知るとともに、安全で快適な住まい方や環境や社会に配慮した住まい方を考え、具体的に工夫できるようにする。

4 題材の評価規準

- ・安全で快適な室内環境の整え方や住まい方、環境や社会に配慮した住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方、環境や社会に配慮した住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。【工夫・創造】
- ・住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方、環境や社会に配慮した住まい方に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。【知識・理解】

5 指導計画

(1) 本題材の指導と評価の計画（8時間扱い）

時間	学習内容	評価規準・評価方法	関	創	技	知
1	○House Change Project ガイダンス ○住まいの様々な役割	・自分の地域の自然条件に適した住まい方に関心をもっている。【関】（ワークシート） ・住まいのはたらきを理解している。【知】（ワークシート）	○			○
2	○共に住まう	・住まいには共同生活の空間と個人生活の空間などがあることに関心をもっている。【関】（ワークシート）	○			
3	○家族の健康と室内環境	・室内環境を快適に整えるための工夫をしている。【工】（ワークシート） ・室内の空気の汚染の原因と空気調節の方法がわかる。【知】（ワークシート）		○		○
4	○家庭内の安全	・家族が安心して住まうために室内環境をどのようにしたらよいか、関心をもっている。【関】（発表） ・自然災害を含む家庭内の事故の防ぎ方や自然災	○			○

		害への備えなどの視点から室内環境の整え方、安全管理の方法がわかる。【知】（ワークシート）				
5	○災害への備え	・家族だけでなく、地域とつながる視点から安全で快適な住まいについて意見をまとめている。 【工】（発表・ワークシート）		○		○
6	○地域に配慮した住まい方	・音と生活とのかかわりについて関心をもっている。【関】（発表） ・音と生活とのかかわりについて理解している。 【知】（ワークシート）	○			○
7	○環境や社会に配慮した住まい方の工夫①	・環境や社会に配慮した住まい方に関心をもっている。【関】（ワークシート） ・環境や社会に配慮した住まい方を調べ、まとめている。【工】（ワークシート）	○	○		
8 (本時)	○環境や社会に配慮した住まい方の工夫②	・調べ学習を振り返り、自分の住まい方をさらに良くしようとしている。【関】（発表） ・環境との共生や社会全体を踏まえた視点で住まい方について考え、工夫している。 【工】（発表・ワークシート）	○	○		

6 本時の指導（8／8時間）

（1）小題材名

House Change Project～環境や社会に配慮した住まい方の工夫を考えよう～

（2）本時の目標

持続可能な社会の実現に向けて、住まい方を工夫することの大切さがわかり、実現しようとする。

（3）本時の評価規準

	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
おおむね満足	調べ学習を振り返り、自分の住生活をさらに良くしようとしている。	環境との共生や社会全体を踏まえた視点で住まい方について考え、工夫している。		

(4) 本時の展開

8 / 8 時間

学習過程	時配	学習活動	教師の指導と支援	●評価(方法)・資料
課題をつかむ	5	○前時の振り返り ○本時の学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習内容を振り返らせる。 ・自分の生活に生かせるものを見つけながら、報告を聞くように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
		<p style="text-align: center;">環境や社会に配慮した住まい方の工夫を考えよう</p> ○発表の仕方の確認		
追究する	20	○グループの発表 発表 2分×9班 テーマについて調べた内容や実践結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のルールを守って聞くように、机間指導する。 ・タイマーを使って、時間配分をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発表用掲示物
		<p>【調べるテーマ】</p> ゼロ・エネルギー住宅(2班) 日風通しの工夫(1班) 日光の取りリノベーション(1班)	日本の伝統的な住まいのよさ (2班) 入れ方 (1班) 地域景観(1班)	

深める	15	<p>○環境や社会に配慮した住まい方の工夫について知る。</p> <p>○発表を聞いて、自分の住まい方に生かせることをワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>・生徒の発表から、キーワードをまとめる。</p> <p>足りない場合は、「持続可能なまちづくり」について補足する。</p> <p>・記入が遅い生徒に助言する。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>●調べ学習を振り返り、自分の住生活をさらによくしようとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (ワークシート)</p>
まとめる	10	<p>環境や社会に配慮した住まいの工夫を考えたか</p> <p>○House Change Project のまとめをする。</p> <p>○自己評価をする。</p>	<p>・環境や社会を考えた住まい方の重要性に気付かせる。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>●環境との共生や社会全体を踏まえた視点で住まい方について考え、工夫している。</p> <p>【工夫・創造】 (ワークシート)</p>